

第6期京都府障害福祉計画・第2期京都府障害児福祉計画の骨子(案)

第5期計画	第6期計画(案)	第6期計画策定に当たってのポイント
<p>第1章 基本理念等</p> <p>1 目的及び趣旨</p> <p>2 基本理念</p> <p>3 計画策定の基本的な考え方</p> <p>4 区域の設定</p> <p>5 計画期間</p> <p>6 根拠法令</p>	<p>第1章 基本理念等</p> <p>1 目的及び趣旨</p> <p>2 基本理念</p> <p>3 計画策定の基本的な考え方</p> <p>4 区域の設定</p> <p>5 計画期間</p> <p>6 根拠法令</p>	<p>●計画期間：<u>令和3年度～5年度</u></p> <p>●障害者等の自己決定の尊重と意思決定の支援</p> <p>●市町村を基本とした身近な実施主体と障害種別によらない一元的な障害福祉サービスの実施等</p> <p>●入所等から地域生活移行への移行、地域生活の継続の支援、就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備</p> <p>●地域共生社会の実現に向けた取組</p> <p>●障害児の健やかな育成のための発達支援</p> <p>●<u>障害福祉人材の確保</u></p> <p>●<u>障害者の社会参加を支える取組</u></p>
<p>第2章 サービス見込量及び計画的な基盤整備</p> <p>1 サービス見込量</p> <p>(1) 障害福祉サービス等の体系</p> <p>(2) サービス見込量の合計</p> <p>(3) 圏域ごとのサービス見込量</p> <p>2 サービス基盤の整備に向けた基本計画における施策の方向性</p> <p>(7) <u>生活環境の整備</u></p> <p>(10) <u>暮らしの安心・安全</u></p> <p>(1) <u>共生社会の実現に向けた理解と交流の促進</u></p> <p>(4) <u>生活の支援</u></p> <p>(5) <u>保健・医療の充実</u></p> <p>(8) <u>雇用・就労の促進</u></p> <p>(9) <u>スポーツ、文化・芸術、レクリエーション活動の振興</u></p> <p>(3) <u>教育の推進</u></p> <p>(2) <u>障害児への支援</u></p> <p>(6) <u>発達障害児・者への支援の充実</u></p>	<p>第2章 サービス見込量及び計画的な基盤整備</p> <p>1 サービス見込量</p> <p>(1) 障害福祉サービス等の体系</p> <p>(2) サービス見込量の合計</p> <p>(3) 圏域ごとのサービス見込量</p> <p>2 サービス基盤の整備に向けた基本計画における施策の方向性</p> <p>(1) <u>安全・安心な生活環境の整備</u></p> <p>(2) <u>情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の充実</u></p> <p>(3) <u>防災・防犯等の推進</u></p> <p>(4) <u>差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止</u></p> <p>(5) <u>自立した生活の支援・意思決定支援の推進</u></p> <p>(6) <u>保健・医療の推進</u></p> <p>(7) <u>雇用・就業、経済的自立の支援</u></p> <p>(8) <u>文化芸術やスポーツ等を通じた活動や機会の創出</u></p> <p>(9) <u>生涯を通じて学び続けられる環境の整備</u></p> <p>(10) <u>障害児への支援</u></p> <p>(11) <u>発達障害児・者への支援の充実</u></p>	<p>●<u>精神障害者の地域移行支援、地域定着支援、共同生活援助、自立生活援助</u></p> <p>●地域における相談体制の検証・評価。総合的な相談支援体制、専門的な指導・助言及び人材育成等各種機能の更なる強化・充実に向けた検討</p> <p>●<u>依存症対策の推進</u></p> <p>●<u>障害者文化芸術活動の推進</u></p> <p>●<u>視覚障害者等の読書環境の計画的な整備の推進</u></p> <p>●<u>障害者の文化芸術活動を支援するセンターの設置の推進</u></p> <p>●<u>難聴児支援のための中核的機能を有する体制の確保等</u></p> <p>●<u>発達障害者等及びその家族等に対する支援体制の確保</u></p>

第5期計画	第6期計画（案）	第6期計画策定に当たってのポイント
3 圏域障害者自立支援協議会での課題整理等 4 圏域の課題等を受けての施策の方向性	3 圏域障害者自立支援協議会での課題整理等 4 圏域の課題等を受けての施策の方向性	
第3章 各年度の指定障害者支援施設の必要入所定員数	第3章 各年度の指定障害者支援施設の必要入所定員数	
第5章 地域生活支援事業の実施 1 専門性の高い相談支援事業 2 意思疎通支援を行うものの養成・派遣等事業 3 広域的な支援事業 4 サービス・相談支援者・指導者育成事業 5 任意事業・地域生活支援促進事業等	第4章 地域生活支援事業の実施 1 専門性の高い相談支援事業 2 意思疎通支援を行うものの養成・派遣等事業 3 広域的な支援事業 4 サービス・相談支援者・指導者育成事業 5 任意事業・地域生活支援促進事業等	
第4章 障害福祉サービス等の人材確保及び資質向上の取組 1 人材の養成・確保 2 サービスの質の向上等 3 権利擁護の推進	第5章 障害福祉サービス等の人材確保及び資質向上の取組 1 人材の養成・確保 2 サービスの質の向上等 3 権利擁護の推進	<p>●<u>研修の実施、他職種間の連携の実施、障害福祉の現場が働きがいのある魅力的な職場であることの積極的な周知・広報等</u></p> <p>●<u>強度行動障害及び高次脳機能障害を有する障害者に対する支援体制の充実</u></p>
第6章 計画の達成状況の点検及び評価	第6章 計画の達成状況の点検及び評価	
第7章 計画の成果目標の設定 1 福祉施設の入所者の地域生活への移行 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 3 地域生活支援拠点等 <u>の整備</u> 4 福祉施設から一般就労への移行等 5 障害児支援の提供体制の整備等 6 京都府の取組みについて	第7章 計画の成果目標の設定 1 福祉施設の入所者の地域生活への移行 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 3 地域生活支援拠点等 <u>が有する機能の充実</u> 4 福祉施設から一般就労への移行等 5 障害児支援の提供体制の整備等 6 京都府の取組みについて	<p>●施設入所者：<u>令和元年度末時点入所者が対象</u></p> <p>●<u>精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における生活日数の平均</u></p> <p>●地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討</p> <p>●就労移行：<u>令和元年度実績が基準</u></p> <p>●<u>就労移行支援事業、就労継続支援A型事業、就労継続支援B型事業それぞれの移行者数</u></p> <p>●<u>就労定着支援事業利用者</u></p> <p>●<u>就労定着率 8割以上の就労定着支援事業所</u></p>